

# 自民新総裁に安倍氏

## 初の戦後生まれ首相誕生へ

自民党総裁選は二十日午後、党本部で所属国会議員による投票が行われた。都道府県連に配分した黨員票と合わせて開票された結果、安倍晋三官房長官(五)が麻生太郎外相(六)、谷垣禎一財務相(六)を大差で破り、第二十一代総裁に選ばれた。投票総数七百三票(無効一票)のうち、安倍氏の得票は約三分の二に当たる四百六十四票、麻生氏は百三十六票、谷垣氏は百二票だった。総裁任期は二〇〇九年九月までの三年間。

安倍氏は、出身派閥の森派だけでなく党内全体から支持を集め、独走状態のまま勝利した。臨時国会が召集される二十六日、衆参両院本会議で戦後最年少、初の戦後生まれ首相に指名され同日中に組閣を行う。

安倍政権は、中韓両国との関係改善、消費税率引き上げ、教育改革などに取り組む。

総裁選結果	安倍晋三氏	464
	麻生太郎氏	136
	谷垣禎一氏	102
投票総数703票(無効1票)		



第21代総裁に選出された安倍晋三官房長官  
20日午後2時53分、東京都の自民党本部で

2006年9月20日発行